

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月13日

上場会社名 株式会社ランディックス 上場取引所 東
 コード番号 2981 URL https://landix.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 和也
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 松村 隆平 (TEL) 03-6420-3230
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 10,462 | 19.3 | 1,345 | △3.0 | 1,286 | △4.9 | 841 | △5.1 |
| 2022年3月期第3四半期 | 8,768 | 56.7 | 1,387 | 249.3 | 1,353 | 262.6 | 885 | 256.7 |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 841百万円(△5.1%) 2022年3月期第3四半期 885百万円(256.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 297.43 | 295.34 |
| 2022年3月期第3四半期 | 313.42 | 310.76 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 14,281 | 6,333 | 44.3 |
| 2022年3月期 | 12,768 | 5,648 | 44.2 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,333百万円 2022年3月期 5,648百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 55.00 | 55.00 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 65.00 | 65.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,000 | 34.8 | 1,550 | 5.3 | 1,500 | 5.7 | 970 | 3.5 | 343.03 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 2,827,793株 | 2022年3月期 | 2,827,793株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 128株 | 2022年3月期 | 106株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期3Q | 2,827,685株 | 2022年3月期3Q | 2,826,451株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や外国人観光客の受入れも再開され、国内の経済活動は緩やかに回復の兆しをみせてまいりました。しかし、同感染症の再拡大や原材料の高騰、急激な円安の進行などの影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産住宅市場におきましては、世界的な原材料高による建築コストの高騰や優良用地の不足などの懸念はありますが、継続的な政策支援や住宅ローン金利の低位安定等で住宅関連を中心に総じて底堅く推移しております。このような環境の中で、当社グループは、「唯一無二の豊かさを創造する」の経営理念のもと、積極的な若手人材採用と育成により、新規顧客アプローチの数と質を向上させ、一方で既存顧客に対しては長期的なサポート及び丁寧な提案を行うことで、用地仕入から販売まで住宅用地については平均3.8ヶ月での短期間成約を維持継続しております。当第3四半期連結累計期間は利益は減少したものの、通期業績目標に対して良好な利益水準を確保しております。また新たな開発用地取得や販売契約の獲得を目指し営業活動に取り組み、本格的に開始した収益用不動産の販売により、売上高を積み増すことができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,462,626千円（前年同期比19.3%増）、営業利益は1,345,060千円（前年同期比3.0%減）、経常利益は1,286,542千円（前年同期比4.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は841,036千円（前年同期比5.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① sumuzu事業

前連結会計年度は第3四半期まで高利益案件が偏重している状況でしたが、当第3四半期連結累計期間については案件の利益が平準化されているため、通期業績予想に対して順調な進捗になっているものの、前年同期比では利益が減少しております。

その結果、売上高は10,381,431千円（前年同期比18.9%増）、セグメント利益は1,539,137千円（前年同期比1.0%減）となりました。

② 賃貸事業

賃貸事業においては、2022年3月に東京都世田谷区新町2丁目に新規賃貸用不動産物件を取得し、同年4月より営業を開始したこともあり、賃料収入が堅調に推移しました。

その結果、売上高は80,546千円（前年同期比105.9%増）、セグメント利益は38,312千円（前年同期比123.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1,512,341千円増加の14,281,152千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、1,452,004千円増加の11,222,842千円となりました。これは主に現金及び預金が387,124千円増加し、仕入活動の強化により棚卸資産が933,970千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、60,337千円増加の3,058,310千円となりました。これは主に建物及び構築物が28,764千円、土地が56,871千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、826,884千円増加の7,947,480千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、747,473千円増加の6,057,606千円となりました。これは主に販売用不動産仕入の増加に伴い短期借入金701,587千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、79,411千円増加の1,889,874千円となりました。これは主に長期借入金77,546千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、685,457千円増加の6,333,672千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が841,036千円増加した一方で、利益配当金の支出により利益剰余金が155,522千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国におきましては、新型コロナウイルス感染症の社会経済活動に与える影響が和らぐ一方で、世界的な利上げ、円安や資源価格高騰による物価上昇リスク等もあり、引き続き注視が必要な状況です。

このような事業環境のもと、当社グループにおいては自社仕入の強化を進め、既存顧客また新規顧客へのアプローチの数と質を向上させ、魅力的な不動産物件を購入いただく等のクロスセル販売などを通じて不動産販売事業の拡大を目指してまいります。これまでのところ、堅調に計画どおり業績が進捗していることから、2022年5月12日公表の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,505,747 | 4,892,872 |
| 棚卸資産 | 5,030,423 | 5,964,394 |
| その他 | 234,666 | 365,575 |
| 流動資産合計 | 9,770,837 | 11,222,842 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 962,874 | 991,639 |
| 減価償却累計額 | △119,017 | △143,695 |
| 建物及び構築物(純額) | 843,856 | 847,943 |
| 車両運搬具 | 28,380 | 28,380 |
| 減価償却累計額 | △26,654 | △27,086 |
| 車両運搬具(純額) | 1,725 | 1,293 |
| 工具、器具及び備品 | 46,877 | 51,064 |
| 減価償却累計額 | △17,152 | △23,307 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 29,725 | 27,757 |
| 土地 | 1,909,254 | 1,966,125 |
| 有形固定資産合計 | 2,784,561 | 2,843,120 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 1,510 | 1,431 |
| ソフトウェア | 124 | — |
| 無形固定資産合計 | 1,634 | 1,431 |
| 投資その他の資産 | 211,776 | 213,759 |
| 固定資産合計 | 2,997,973 | 3,058,310 |
| 資産合計 | 12,768,811 | 14,281,152 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 4,005,000 | 4,706,587 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 268,382 | 409,027 |
| 未払法人税等 | 453,152 | 194,447 |
| 賞与引当金 | 22,412 | 8,272 |
| その他 | 561,186 | 739,270 |
| 流動負債合計 | 5,310,132 | 6,057,606 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,773,454 | 1,851,000 |
| その他 | 37,008 | 38,873 |
| 固定負債合計 | 1,810,463 | 1,889,874 |
| 負債合計 | 7,120,595 | 7,947,480 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 488,554 | 488,554 |
| 資本剰余金 | 701,422 | 701,422 |
| 利益剰余金 | 4,458,542 | 5,144,056 |
| 自己株式 | △304 | △360 |
| 株主資本合計 | 5,648,215 | 6,333,672 |
| 純資産合計 | 5,648,215 | 6,333,672 |
| 負債純資産合計 | 12,768,811 | 14,281,152 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 8,768,836 | 10,462,626 |
| 売上原価 | 6,353,445 | 7,965,827 |
| 売上総利益 | 2,415,390 | 2,496,799 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,028,200 | 1,151,739 |
| 営業利益 | 1,387,190 | 1,345,060 |
| 営業外収益 | | |
| 還付加算金 | 62 | 260 |
| 為替差益 | 163 | 312 |
| 不動産賃貸料 | 156 | 260 |
| その他 | 24 | 40 |
| 営業外収益合計 | 407 | 873 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,638 | 51,868 |
| その他 | 956 | 7,522 |
| 営業外費用合計 | 34,594 | 59,391 |
| 経常利益 | 1,353,002 | 1,286,542 |
| 特別利益 | | |
| 保険解約返戻金 | 6,789 | 7,427 |
| 特別利益合計 | 6,789 | 7,427 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 86 |
| 特別損失合計 | — | 86 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,359,791 | 1,293,883 |
| 法人税等 | 473,913 | 452,846 |
| 四半期純利益 | 885,878 | 841,036 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 885,878 | 841,036 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 885,878 | 841,036 |
| 四半期包括利益 | 885,878 | 841,036 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 885,878 | 841,036 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-----------|--------|-----------|--------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | sumuzu | 賃貸 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,728,782 | 39,120 | 8,767,903 | 933 | 8,768,836 | — | 8,768,836 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,728,782 | 39,120 | 8,767,903 | 933 | 8,768,836 | — | 8,768,836 |
| セグメント利益 | 1,555,242 | 17,173 | 1,572,416 | 933 | 1,573,349 | △186,159 | 1,387,190 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,796千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当第3四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、賃貸事業に含まれていた資産のうち、有形固定資産の一部(建物12,703千円、土地198,995千円)をsumuzu事業の資産である棚卸資産(販売用不動産)に振替えております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|--------|------------|--------------|------------|--------------|----------------------------|
| | sumuzu | 賃貸 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,381,431 | 80,546 | 10,461,978 | 648 | 10,462,626 | — | 10,462,626 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 10,381,431 | 80,546 | 10,461,978 | 648 | 10,462,626 | — | 10,462,626 |
| セグメント利益 | 1,539,137 | 38,312 | 1,577,449 | 648 | 1,578,098 | △233,038 | 1,345,060 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△234,674千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。